

消費税 TPP 原発ゼロなど公約実現に全力をつくします 比例代表北関東ブロックで塩川鉄也 議席を確保

16日に投開票がおこなわれた衆議院選挙で、日本共産党は、議席倍増を目指し奮闘しましたが、改選9議席から8議席の後退となりました。

総選挙では、自民・公明両党が、320を超える議席を獲得し、自公政権が復活する結果になりましたが、これは、民主党政権に対する国民の怒りがもたらしたものであり、自民党への国民的期待が広がったものではありません。

日本共産党は、消費税増税やTPP問題、原発ゼロ、安心してらせる社会保障の充実など、公約の実現に全力をつくします。ひきつづき、ご支援、ご協力をお願いいたします。



補正予算などを採決し12月定例会市議会が閉会しました 福島第一原子力発電所事故による農畜産物損害賠償に関する意見書を全会一致で採択

12月定例会市議会は、13日に「沼田市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の制定について」、平成24年度沼田市一般会計補正予算（第4号）及び特別会計補正予算4件、福島第一原子力発電所事故による農畜産物損害賠償に関する意見書案についてなどを採決し、閉会しました。

福島第一原子力発電所事故による農畜産物損害賠償に関する意見書は、農畜産物の損害に対する東京電力の賠償金支払いが遅れていることから、政府が東京電力に賠償金の支払いを働きかけることを求め、総理大臣など関係大臣に提出しました。

都市公園のバリアフリー化をすすめる条例を制定

高齢者や障がい者も安心して利用できる公園づくりへ

「沼田市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の制定について」は、都市公園の出入り口の広さを120%以上にすることや勾配を5%以下にすることなどを定め、高齢者や障がい者も安心して都市公園を利用できるようにバリアフリー化をすすめる条例です。

この条例は、これからつくる都市公園に適用されることとなります。



新規就農者に年間150万円の支援 沼田市では2人が対象予定

12月定例会市議会に提案された、平成24年度沼田市一般会計補正予算（第4号）に「新規就農支援事業」がもりこまれ、新規就農者に年間150万円までを支援することになりました。



この事業は、45歳未満の人であらたに農業をはじめた人が対象となり、県に営農計画を提出し、承認を得ることなどがが必要です。

2012年12月23日

NO. 334

日本共産党 大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

やまびこ

発行所 沼田市下久屋町983 Tel.23-1519 部内資料

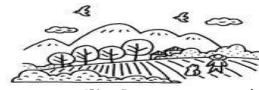


選挙制度は本来、国民の意思が議席に正しく反映するのが原則で、民意をゆがめる小選挙区制を廃止し、得票が議席にそのまま反映する比例代表を中心とする選挙制度を抜本的に改革することが必要です。

こんには 大東のぶゆき です

こんには。総選挙で「大勝」した自民党の議席は、小選挙区で4割の得票で8割の議席を独占しましたが、得票数に応じて議席を配分する比例代表選挙では3割の議席しか獲得しておらず、小選挙区制が民意を正確に反映する制度になっていないことを、あらためて浮き彫りにしました。

小選挙区制は、大政党内利になる弊害は、これまでも指摘されてきましたが、前回の選挙でも民主党が4割の得票で7割を超す議席を獲得するなど、大政党内の「独り勝ち」となる一方で、今回の選挙でも議席に結びつかない大量の「死に票」を5962万票（53%）のぼりました。



ぶらり散歩 めまた道 利根町 最終回 根利山の今と昔



木材が集められている砥沢の土場



土場があった付近の現在の様子(砥沢)



源公平に残る道路の跡と石垣



源公平の停車場と角材(明治40年頃)

※新年からは、ふたたび沼田地区より、ぶらり散歩めまた道を連載する予定です。



砥沢の住宅跡に残るビンや湯飲み茶碗など



根利山会が建てた記念碑

※過去の写真は、「幻の集落 根利山」より転載